

夕日が欠けたまま沈む!?

～2010年1月15日部分日食～

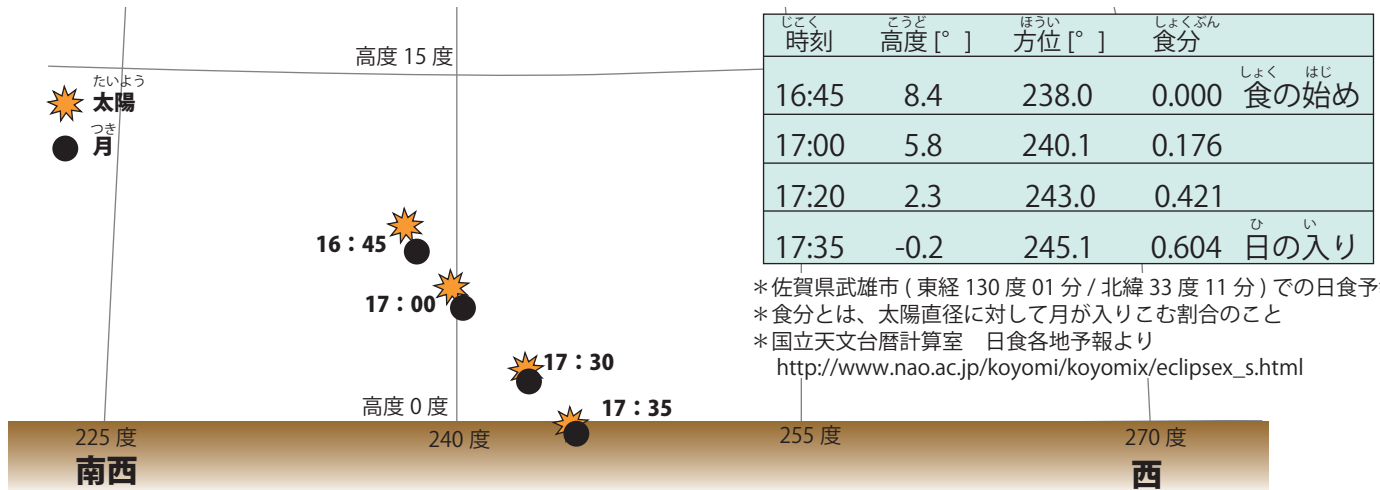
日食が起こる!

2010年1月15日に佐賀県で部分日食が見られます。今回の日食は、太陽直径の約5割が欠けて見られます。2009年の7月22日にも部分日食がみられましたが、天候に恵まれなかった場所も多かったようです。前回、天候不良で日食が見られなかった方は、また観察にチャレンジしてみましょう。

1月15日の日食予報

今回の日食は、2010年1月15日の夕方に起こります。日没時、太陽が欠けたまま沈みます。食がはじまるのは、高度8.4度、太陽がかなり低くなってからです。さらに、食の最大で日の入りとなりますので、沈むぎりぎりまで夕日が見えるような（海岸沿いや山の上など）、西の空がよく開けた場所をあらかじめ探しておき、そこで観察するといいでしょ。

1月の太陽が沈むのは真西よりも少し南側、西南西の空です。事前に、西南西の方向に障害物がないかも確認しておくといいでしょ。*日没後は、あっという間に暗くなりますので、大人と一緒に観察しましょう。



*佐賀県武雄市（東経130度01分 / 北緯33度11分）での日食予報
*食分とは、太陽直径に対して月が入りこむ割合のこと
*国立天文台暦計算室 日食各地予報より
http://www.nao.ac.jp/koyomi/koyomix/eclipse_s.html

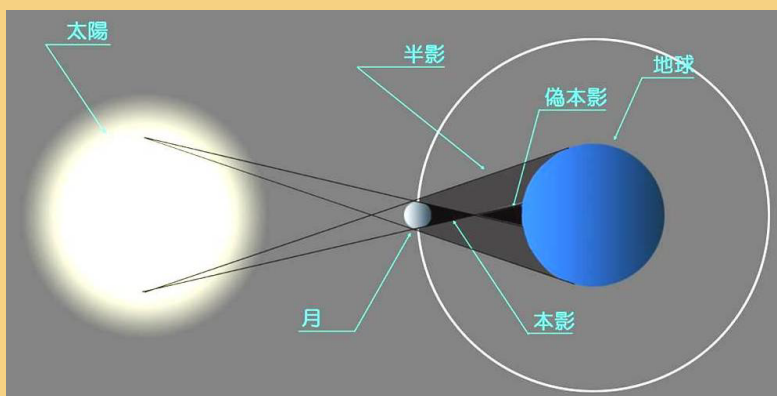
日食観察は安全に!

太陽を直接、目でみてしまうと、たいへん危険です。日食観察をするときは、かならず専用の日食観察メガネなどを使用しましょう。また、専用のフィルターのない望遠鏡や双眼鏡で観察すると、失明のキケンがあります。日食は、子どもだけでは観察せず、大人の人といっしょに見ましょう。



科学館でも1月15日に、日食観察教室を開催します!

日食はなぜおこる? ~金環日食編~



日食とは、太陽、月、地球が一直線に並ぶとき、太陽に照らされた月の影が地球上におち、その場所からは太陽が欠けて見られる現象です。今回は、月が離れているために、皆既日食ではなく金環日食となります。金環日食は、太陽と月がちょうど重なっても、月のサイズが太陽よりもわずかに小さいために、太陽がきれいに隠れず、細いリング状に残ってしまう日食のことです。

今回、金環日食が見られる地域は、アフリカ～インド洋～中国です。佐賀では部分日食として楽しめます。